

公益活動事業補助金実施事業報告会 会議録

日 時	平成 28 年 5 月 15 日（日）10:00～10:30
会 場	広葉交流センター 2階 活動室
出席委員	大橋弘昌会長、井関薫子委員、竹村画二委員、前田智加委員、加納明美委員
欠席委員	なし
市出席者	【企画財政部】川村裕樹次長 【企画課】橋本課長、柴主査、安井主事

1. 開会

大橋 北広島市市民協働推進会議会長の挨拶

2. 委員の紹介

3. 実施事業報告会

事業名「朗読劇教室」について、「NPO 法人くらしの研究会」から発表

《くらしの研究会 発表》

●朗読劇教室（ワークショップ）

朗読劇で必要となる発声、腹式呼吸、文章の朗読は、嚥下障がいや認知症の予防に役立つことから、北広島市内の各老人クラブに案内を出し、2件の応募があり、朗読劇教室のワークショップを実施した。

参加された方々からは、これは「元気の源になる」との感想を頂き、大変喜ばれた。さらに、いつも難しい話ばかりでつまらないと言っていた高齢者が、このような形であれば参加したいと言う声も聞かれた。特に、腹式呼吸や発声は喜ばれ、台本の読み合わせを、講師と生徒・参加者とで実施した。

現在、大曲の老人クラブより、月に一回朗読劇を教えてほしいとの依頼を受けており、その実施方法について検討中である。

●朗読劇教室

北広島市内・外（札幌市、岩見沢市）から生徒が参集し、延べ275名の生徒によって、発声から滑舌・感情表現と幅広い指導を実施した。今回の生徒は、中学2年生から60歳代と幅広い年齢層の方々の参加があり、参加者からは、この教室で学んだことで学校や職場において、対人関係の改善が行われたと報告を受けている。

また、中学生の生徒については、担任の先生と話をする機会があり、「生徒の成長には目を見張るものがあった」との感想も頂いた。

朗読劇教室の公演については、生徒たちからは日常では味わえない緊張感と、精神的な高揚感が得られてとても良かったとの感想が聞かれた。

このような経験により、自信を持って対人関係を築くことができるようになったものと感じられた。

更に、様々な台本を読み込むことによって、台本の中にある心象風景を描くことができ、より読書に対する認識を深めてもらうことにも繋がったと思われる。

公益活動事業補助金実施事業報告会 会議録

今回は、北広島市の開拓者の話を、朗読劇で行ったが、子供たちの郷土愛や出身地を誇りに思う気持ちを育むには、単なる郷土史の編纂ではなく、この地を開拓した人々の話を、分かりやすく聞かせることが、効果的であったと考えられる。

平成 27 年度における学校での実施や、学童クラブでの実施については、日程等の調整がつかず実施には至らなかったが、引き続き活動を続けていきたい。

現在、札幌の障がい者の授産施設の方々から、朗読劇を教えてほしいとの依頼もあり、実施について検討中である。

<質疑応答>

○委員

今後の活動としては、生徒が自主性をもって何かをやるという目標がない限りは事業は行わないということか。

○くらしの研究会

習いたいという人もいるので継続はしていくが、発表をどうするかは未定である。

○委員

今後は生徒たちの自主性があれば、自分たちでお金を出してやっていくという方向性で進めるのか。

○くらしの研究会

最終的には 3~5 年はかかるので生徒たちの自主性がないとできないと思われるし、学校や老人会などで朗読劇に取り上げてもらえるようなサポートはするが、相手方に朗読劇を取り上げる気持ちがないとなかなか発展しない。

○委員

教則本、台本、チラシ、ポスターなど制作部数は。

○くらしの研究会

最初に資料として提出したとおり。チラシ、ポスターはその都度、順次印刷している。

○委員

朗読劇教室の参加の内訳で、生徒数が延べ 275 名参加しているが、新規で来られている方はどれくらいか。

○くらしの研究会

5 名である。

公益活動事業補助金実施事業報告会 会議録

○委員

学校で朗読劇を取り上げたいという話はあるか。

○くらしの研究会

話は来るが、こちら側で予算などの措置ができれば、実施は可能である旨、話をしている。

○委員

これまで講師謝礼に補助金を充ててきていたと思うが、今後、補助金がなくなっても続けたいという生徒はどれくらいいるのか。

○くらしの研究会

具体的な人数はわからないが、続けたいという生徒はいる。

○委員

陽だまり新聞の掲載料が約9万円となっているが、掲載料の相場としてはこれくらいなのか。

○くらしの研究会

通常は1回6万円から7万円と聞いているが、今回は2回で約9万円と、少し安くしてもらっている。

○委員

朗読シアター「ふらっと」とくらしの研究会の関係性は。

○くらしの研究会

朗読シアター「ふらっと」は、くらしの研究会の劇団の名前である。

4. 閉会

井関 市民協働推進会議副会長の挨拶